

第 12 回地域消費動向調査

# 報告書

平成 30 年 1 月

甲 府 市

# 目 次

I. 甲府市の消費を取り巻く環境動向-----	2
1. 人口-----	2
2. 消費支出-----	4
3. 産業別事業所数・就労者数-----	5
4. 甲府市の商業動向-----	7
II. 第12回地域消費動向調査結果-----	12
1. 調査実施概要-----	12
2. 調査結果-----	13
III. 調査分析結果の要点とまとめ-----	105
1. 調査分析結果の要点-----	105
2. まとめ-----	109

# I. 甲府市の消費を取り巻く環境動向

## 1. 人口

### 1. 年齢別人口の推移

平成29年1月現在の甲府市の総人口は191,675人で、平成18年3月1日に旧中道町（平成17年国勢調査人口5,505人）及び旧上九一色村北部（同347人）と合併した当時の194,350人より2,675人（1.4%）減少している。

なお、これを下表から平成19年1月時点と平成29年1月時点の年齢別構成比で比較すると、増加した年齢層は65歳以上が5.0ポイント、46歳～55歳1.5ポイント、36歳～45歳0.7ポイントで、反対に減少したのは26歳～35歳が3.1ポイント、56歳～64歳2.1ポイント、25歳以下が2.0ポイントなどとなっており、いわゆる少子高齢化社会の動向と同様の傾向がみられる。

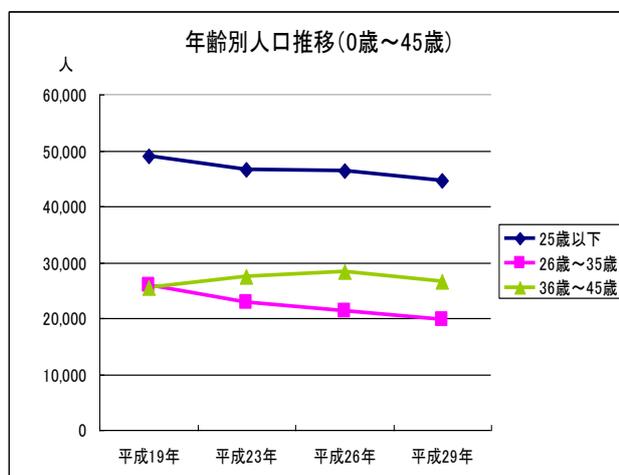
図表1-1-1

■年齢別人口の推移

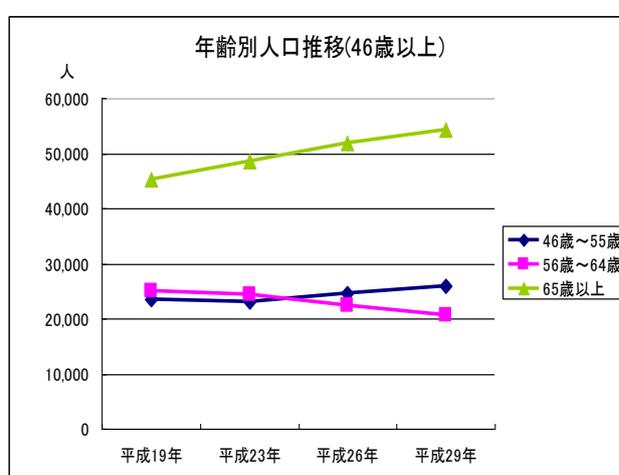
単位：人、%

	平成19年		平成23年		平成26年		平成29年	
	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
25歳以下	49,099	25.3	46,553	24.1	46,297	23.8	44,601	23.3
26歳～35歳	25,835	13.3	22,754	11.8	21,381	11.0	19,703	10.2
36歳～45歳	25,448	13.1	27,390	14.2	28,304	14.5	26,542	13.8
46歳～55歳	23,580	12.1	23,084	12.0	24,542	12.6	26,002	13.6
56歳～64歳	24,963	12.9	24,361	12.6	22,472	11.5	20,607	10.8
65歳以上	45,345	23.3	48,637	25.2	51,804	26.6	54,220	28.3
合計	194,270	100.0	192,779	100.0	194,800	100.0	191,675	100.0

図表1-1-2



図表1-1-3



資料：住民基本台帳登録人口（各年1月1日現在）

## 2. 社会増減

平成 21 年以降の転入者や転出者の社会増減をみると、21 年、22 年において転入者が転出者を上回ったものの、それ以降は転出者の方が多くなっている。

図表 1-1-4 **■社会増減** 単位：人

年月/区分	転入	その他	計	転出	その他	計	増減
平成 21 年	7,893	231	8,124	7,812	222	8,034	90
平成 22 年	7,626	99	7,725	7,365	104	7,469	256
平成 23 年	7,155	101	7,256	7,823	99	7,922	△666
平成 24 年	7,332	249	7,581	7,812	536	8,348	△767
平成 25 年	8,016	233	8,249	8,102	461	8,563	△314
平成 26 年	7,604	223	7,827	7,961	369	8,330	△503
平成 27 年	8,086	277	8,363	8,314	314	8,628	△265

資料：甲府市ホームページ

## 3. 昼夜間人口

甲府市の昼夜間人口を国勢調査の結果からみると、平成 27 年調査では昼間人口は 222,605 人で 5 年前の平成 22 年の 226,701 人より 6,096 人 (2.7%) 減少している。また、夜間常住人口も平成 27 年は 193,125 人で平成 22 年度比において 5,867 人 (3.0%) 減少となっている。

これを 15 年前の平成 12 年と比較すると、昼間人口並びに夜間常住人口とも減少しており、昼間人口対夜間常住人口比においても平成 12 年の 117.5%を上回るどころまで回復しておらず、県都としての甲府市への来街魅力は低下しつつある。

この原因としては、若者を中心として市内から甲府市周辺地域への移動や事業所の移転、また全国企業の甲府支店や営業所の撤退等をあげることができる。

図表 1-1-5 **■昼夜間人口** 単位：人、%

人口/年		単位	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年
昼間人口		人	230,439	225,175	226,701	220,605
流入出状況	夜間常住人口	人	196,108	194,163	198,992	193,125
	流入人口	人	57,366	55,690	53,382	53,750
	流出人口	人	23,035	24,678	25,673	26,270
	増減	人	34,331	31,012	27,709	27,480
昼間人口/夜間常住人口		%	117.5	116.0	113.9	114.2

資料：国勢調査

## 2. 消費支出

### 1. 甲府市の1世帯あたり支出について

総務省「家計調査年報」（全世帯）からみた平成28年の甲府市一世帯当たり1ヵ月間の消費支出は247,233円で、3年前の平成25年より28,096円（12.8%）増加している。

また、人口5万人以上の市の全国平均消費支出は243,512円で、甲府市はこれを3,721円（1.6%）上回っている。

（注. 世帯主年齢は甲府市が59.8歳で人口5万人以上の市の世帯主年齢58.8歳より若干高く、一世帯当たりの人員は甲府市が2.13人で人口5万人以上の市は2.30人で0.17人（7.4%）甲府市の方が少ない）

これを3年前の平成25年と比較すると、構成比において大幅に増加している項目としては、「教養娯楽」（2.7ポイント増）・「保健医療」（2.2ポイント増）などで、反対に減少幅の大きい項目としては「交通・通信」（1.8ポイント減）・「食料」（1.1ポイント減）・「教育等」（1.0ポイント減）となっている。

なお、同じく構成比で平成28年の人口5万人以上の市との比較で見ると、甲府市は、「住居」、「保健医療」、「教養娯楽」等が上回り、「食料」、「光熱・水道」、「家具・家事用品」、「被服及び履物」、「交通・通信」、「教育等」は下回っている。

図表1-2-1 ■甲府市一世帯当たり1ヵ月間の支出

	平成19年		平成22年		平成25年		平成28年		平成28年 人口5万人以上の市	
	円	%	円	%	円	%	円	%	円	%
消費支出	246,212	100.0	215,680	100.0	219,137	100.0	247,233	100.0	243,512	100.0
食料	54,445	22.1	53,992	25.0	54,399	24.8	58,672	23.7	62,697	25.7
住居	19,990	8.1	12,458	5.8	17,748	8.1	21,133	8.5	18,488	7.6
光熱・水道	18,380	7.5	16,393	7.6	19,009	8.7	17,257	7.0	17,559	7.2
家具・家事用品	6,488	2.6	6,465	3.0	6,510	3.0	8,254	3.3	8,725	3.6
被服及び履物	10,419	4.2	9,495	4.4	9,305	4.2	8,868	3.6	9,327	3.8
保健医療	9,429	3.8	9,398	4.4	9,556	4.4	16,260	6.6	10,984	4.5
交通・通信	29,383	11.9	24,646	11.4	29,279	13.4	28,666	11.6	31,840	13.1
教育等	8,590	3.5	8,381	3.9	6,237	2.8	4,399	1.8	8,125	3.3
教養娯楽	25,012	10.2	24,689	11.4	19,026	8.7	28,272	11.4	25,958	10.7
その他の消費支出	64,076	26.0	49,763	23.1	48,068	21.9	55,452	22.4	49,809	20.5

資料：総務省統計局「家計調査年報」

### 3. 産業別事業所数・就労者数

#### 1. 事業所数

平成 26 年における公務を除く甲府市の民営事業所数は 11,690 事業所で、2 年前の平成 24 年と比較して 59 事業所 (0.5%) 増加した。

産業別では、高齢化の進展もあり「医療・福祉」が 112 事業所増と最も多く、以下「教育・学習支援業」が 93 事業所増、「農林漁業」9 事業所増などの順であった。

また、減少が多かった産業としては、「卸売・小売業」が 60 事業所で最も多く、以下「宿泊・飲食サービス」43 事業所減、「製造業」40 事業所減、「情報通信業」16 事業所減などの順であった。

図表 1-3-1 ■産業別事業所数（甲府市、民営）

事業所数	平成 24 年	平成 26 年	H26/H24 伸び率 (%)	H26 総民営事業 所数に占める 業種別比率 (%)
全産業	11,631(所)	11,690(所)	0.5	
農林漁業	12	21	75.0	0.2
鉱業・採石業・砂利採取業	2	3	50.0	0.0
建設業	823	811	-1.5	6.9
製造業	905	865	-4.4	7.4
電気・ガス・熱供給・水道業	8	11	37.5	0.1
情報通信業	153	137	-10.5	1.2
運輸業・郵便業	133	141	6.0	1.2
卸売業・小売業	3,109	3,049	-1.9	26.1
金融業・保険業	288	287	-0.3	2.5
不動産業・物品賃貸業	865	868	0.3	7.4
学術研究・専門・技術サービス業	574	595	3.7	5.1
宿泊業・飲食サービス業	1,654	1,611	-2.6	13.8
生活関連サービス業・娯楽業	1,055	1,040	-1.4	8.9
教育・学習支援業	380	473	24.5	4.0
医療・福祉	766	878	14.6	7.5
複合サービス事業	59	55	-6.8	0.5
サービス業（他に分類されないもの）	845	845	0.0	7.2

資料：山梨県事業所企業統計調査報告書（公務を除く）

## 2. 就労者数

甲府市の民営事業所就労者数は、平成 26 年において 105,756 人で、2 年前の平成 24 年と比較して 3,214 人 (3.1%) 増加している。

2 年前と比較して就労者数が増加している産業は、「教育・学習支援業」の 2,811 人増が最も多く、以下「医療・福祉」が 2,295 人増、「他に分類されないサービス業」489 人増、「学術研究・専門・技術サービス業」343 人増などであった。

また、減少した産業は「建設業」が 623 人減でトップとなっており、このほか「生活関連サービス業・娯楽業」が 560 人減、「運輸業・郵便業」461 人減、「宿泊業・飲食サービス業」455 人減などの順であった。

図表 1-3-2

■産業別従業者数（甲府市、民営）

就労者数	平成 24 年 (人)	平成 26 年 (人)	H26/H24 増減 (%)	H26 甲府市の総 民営事業所数に 占める比率 (%)
全産業	102,542	105,756	3.1	
農林漁業(個人経営を除く)	90	182	102.2	0.2
鉱業・採石業・砂利採取業	3	6	100.0	0.0
建設業	7,019	6,396	-8.9	6.0
製造業	11,416	11,052	-3.2	10.5
電気・ガス・熱供給・水道業	822	938	14.1	0.9
情報通信業	2,433	2,166	-11.0	2.0
運輸業・郵便業	4,304	3,843	-10.7	3.6
卸売業・小売業	21,588	21,969	1.8	20.8
金融業・保険業	4,990	4,620	-7.4	4.4
不動産業・物品賃貸業	2,671	2,515	-5.8	2.4
学術研究・専門・技術サービス業	2,907	3,250	11.8	3.1
宿泊業・飲食サービス業	10,474	10,019	-4.3	9.5
生活関連サービス業・娯楽業	4,900	4,340	-11.4	4.1
教育・学習支援業	4,751	7,562	59.2	7.2
医療・福祉	13,320	15,615	17.2	14.8
複合サービス事業	411	351	-14.6	0.3
サービス業(他に分類されないもの)	10,443	10,932	4.7	10.3

資料：山梨県事業所企業統計調査報告書（公務を除く）

## 4. 甲府市の商業動向

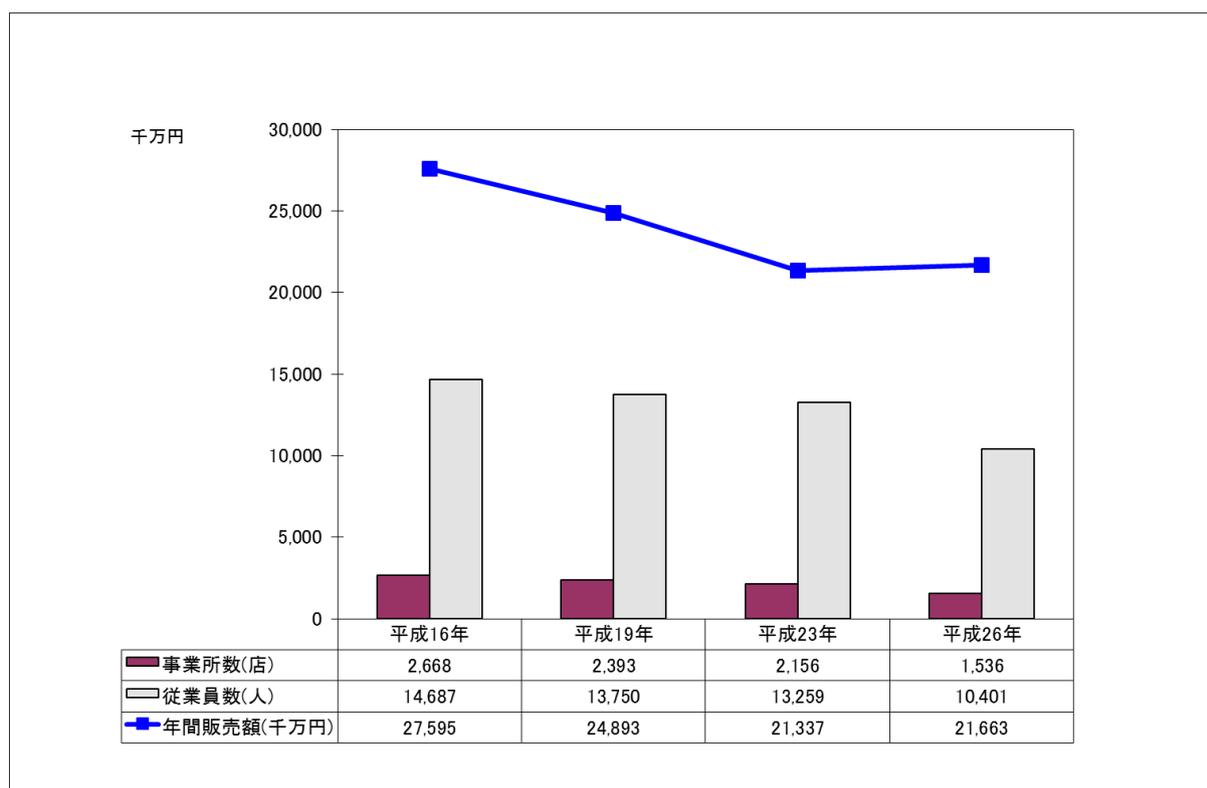
### 1. 商店数、従業員数、年間販売額（小売業合計）

甲府市の小売商業動向を商業統計調査結果並びに経済センサス調査結果からみると、平成26年の小売事業所総数は1,536店で平成23年と比較して620店(28.8%)減少となった。また10年前の平成16年と比較すると1,132店(42.4%)減少し、これを年平均にすると113.2店が毎年閉店している状況にあり、概ね3日に1店が消えている状況にある。

なお、平成26年の従業者数は平成23年比で2,858人(21.6%)減少しているが、年間販売額は326千万円(1.5%)と若干ながら増加傾向がみられる。

しかし、年間販売額に関しても平成16年及び19年と比較すると大きく減少しており、甲府市の小売動向は総じて低下傾向がみられる。

図表1-4-1 ■甲府市の商店数、従業員数、年間販売額（小売業合計）



資料：平成23年までは「商業統計調査」、26年は「経済センサス調査」

ちなみに、甲府市周辺地域の甲斐市、中央市、昭和町を合計した小売販売額における甲府市の割合をみると、平成23年は59.0%であったが平成26年においては59.3%となっており、0.3ポイントと若干増加している。

図表1-4-2 ■甲府市及び周辺地域小売販売額の伸び率 単位：千万円、%

対象地域	平成23年度販売額	平成26年度販売額	H26-H23 販売額	H26/H23
甲府市	21,337	21,663	326	1.5
甲斐市	6,274	5,873	-401	-6.4
中央市	3,789	3,944	155	4.1
昭和町	4,760	5,044	284	6.0

資料：「商業統計調査」・「経済センサス調査」

## 2. 甲府市及び周辺地域の「売り場面積」の伸び率（卸・小売業全体）

平成26年対平成23年の甲府市及び周辺地域の売り場面積（卸・小売業全体）の伸び率をみると、中央市が19.3%と最も高く甲府市と昭和町は何れもマイナスであった。

図表1-4-3 ■甲府市及び周辺地域の売り場面積の伸び率（H26/H23）



資料：「商業統計調査」・「経済センサス調査」

## 3. 商業人口・小売吸引指数（流出入比率）

平成26年の「経済センサス」から市町村別規模別商業統計調査結果を基に、地域商業力の強さを図るデータの一つとして商業人口を参考にみると、甲府市は331,973人であり、小売吸引指数（流出入比率）は1.75で他地域からの流入がみられる。

しかしながら甲府市周辺地域をみると、昭和町は2.74とかなり強い小売吸引力を有し、また中央市も2.49と甲府市より高くなっている。なお甲斐市は0.70で流出の方が多い状況にある。

図表1-4-4 ■商業人口・小売吸引指数（流出入比率）

	商業人口（人）	小売吸引指数 （流出入比率）
甲府市	331,973	1.75
甲斐市	51,964	0.70
中央市	74,442	2.49
昭和町	49,876	2.74

商業人口：各市町小売総販売高／（山梨県小売総販売高／山梨県総人口）

小売吸引指数：商業人口／各市町総人口

資料：人口数は平成26年度山梨県住基人口・世帯数（平成26年1月末現在）

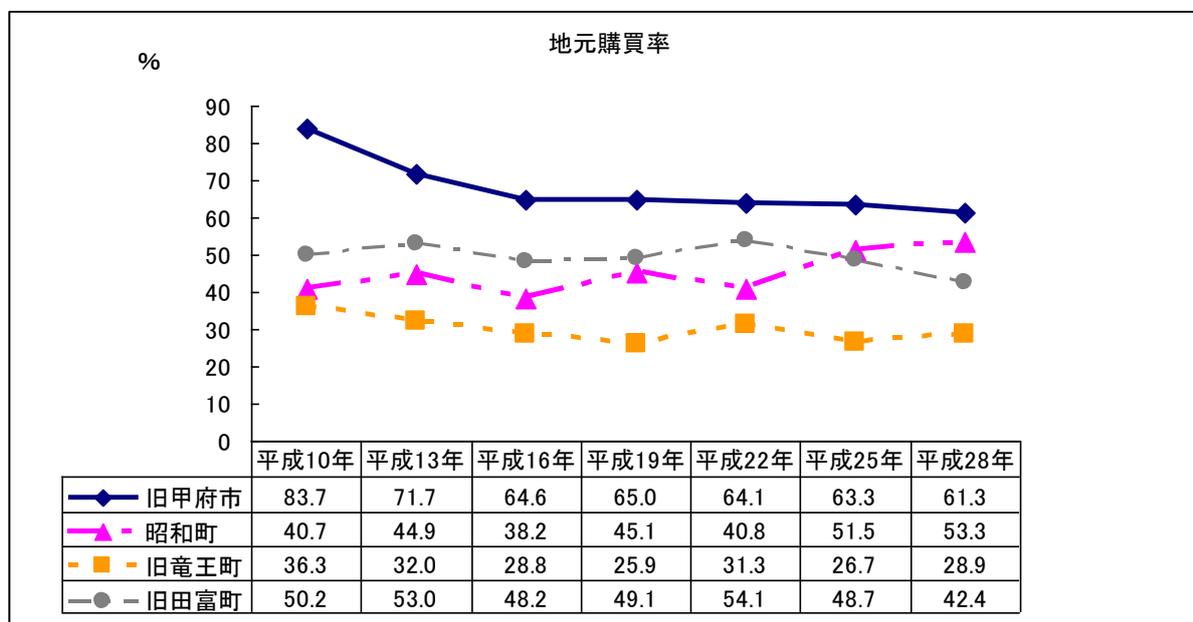
小売総販売高は平成26年経済センサス商業統計調査

#### 4. 甲府市及び周辺地域の地元購買率の推移

平成28年の甲府市民の地元での購買率を「山梨県商圈実態調査」でみると61.3%で周辺地域の中では最も高い比率となっているが、平成10年時の83.7%よりは22.4ポイントと大幅に低下し、甲府市民の地元での買い物は年々減少傾向にある。

一方で、イオンなど大型ショッピングセンターを有する昭和町は平成25年に地元購買率が50%を超えて年々増加傾向を示し、旧田富町は平成22年には54.1%と高比率を有していたがその後低下傾向がみられる。また、旧竜王町は周辺の大型店出店動向に影響を受けて平成25年以降は地元購買率が30%以下となっている。

図表1-4-5 ■甲府市及び周辺地域地元購買率推移



資料：「山梨県商圈実態調査結果報告書」

## 5. 大型店の動向

### (1) 大型店

甲府市における、店舗面積が 5,000 m<sup>2</sup>以上の大型店舗(休業中の店舗を含む)は下表のとおりである。

このうち、岡島はそれまでの 32,044 m<sup>2</sup>から減床し、また甲府銀座ビルは入居していたテナントが平成 21 年 2 月に撤退し以降は閉鎖中であったが、現在は同ビルを取り壊して新たに再開発ビルとして 1 階部分を商業床、2 階以上を分譲マンションとして建設中である。

なお、甲府市周辺部における最近 10 年間の商業動向としては、平成 20 年 6 月中央市(旧玉穂町)にロックタウン山梨中央ショッピングセンター(現：イオンタウン山梨中央)(店舗面積 18,300 m<sup>2</sup>)がオープンしたほか、平成 21 年 4 月甲斐市(旧双葉町)にラザウオーク甲斐双葉(店舗面積 22,582 m<sup>2</sup>)、平成 23 年 3 月昭和町にイオンモール甲府昭和(当初店舗面積 28,000 m<sup>2</sup>から平成 29 年 11 月に 45,000 m<sup>2</sup>へ増床)など大型ショッピングセンターが相次いで出店し、甲府市内の商業に大きな影響を及ぼしている。

図表 1-4-6 ■ 甲府市内の大型店(店舗面積 5,000 m<sup>2</sup>以上、休業中も含む) 単位：m<sup>2</sup>

店 舗 の 名 称	店 舗 面 積	店 舗 の 名 称	店 舗 面 積
岡島百貨店	29,520	山梨交通貢川ショッピングセンター (コジマNEW甲府)	7,312
山交百貨店	15,774	ニトリ甲府店	6,787
オギノイーストモールショッピング センター(パリオ)	10,740	ケーズデンキ甲府店	5,953
山梨交通オギノ・湯村ショッピングセンター	10,588	セレオ甲府	5,774
東京インテリア家具甲府店	9,452	ケーヨーデイツー甲府国母店	5,290
甲府銀座ビル(旧トポス)(休業中)	9,057		

資料：山梨県及び甲府市データを参考に作成

### (2) 大型店での買い物比率

「山梨県商圈実態調査」からみた山梨県民の大型店での買い物状況については、平成 28 年調査において 84.1%と高い状況にあり、一方で一般小売店の利用状況は年々低下傾向がみられ、平成 28 年調査では 6.1%まで低下している。

なお、平成 25 年より新たに調査項目となったネットショップは平成 28 年調査で 6.0%と平成 25 年調査時(4.3%)より増加しており、これに訪問販売・通信販売を加えると無店舗型の店舗は合計 7.1%で、一般小売店を上回る状況となっている。

図表1-4-7 ■品目別利用店舗推移(%) (山梨県全体)

	平成16年	平成19年	平成22年	平成25年	平成28年
大型店	81.9	84.0	85.3	84.6	84.1
一般小売店	10.4	8.1	7.7	6.8	6.1
訪問販売・通信販売	3.0	3.6	3.8	1.5	1.1
生協・農協	2.9	2.8	2.0	1.5	1.3
ネットショップ	—	—	—	4.3	6.0
コンビニ・ミニスーパー	1.8	1.5	1.2	1.3	1.4

資料：「山梨県商圏実態調査結果報告書」

なお、甲府市の住民が地元大型店において購入する商品としては、「衣料品」が88.6%と最も高いが、他の商品についても80%台と高い比率を占めている。

図表1-4-8 ■甲府市民の甲府市大型店での商品別買い物比率(%)

	平成16年 (旧甲府市)	平成19年 (旧甲府市)	平成22年 (旧甲府市)	平成25年 (旧甲府市)	平成25年 (甲府市)	平成28年 (甲府市)
衣料品	92.1	91.9	82.3	87.9	88.0	88.6
寝具	79.2	81.1	74.1	83.2	83.0	85.9
食料品	75.8	81.6	75.8	80.5	80.6	86.2
文化品	84.0	87.9	78.8	85.4	85.6	86.1
身の回り品	88.7	88.9	76.9	84.9	85.1	85.3
その他	89.1	89.3	79.2	86.3	86.5	88.2

資料：「山梨県商圏実態調査結果報告書」